

平成24年度 学校評価報告書

島根県立安来高等学校

	評価項目	生徒による評価				保護者による評価				教職員自身による自己点検・評価		自己総合評価	学校関係者評価		次年度への課題と対策	
		1年	2年	3年	評点	1年	2年	3年	評点	評価項目	評点		委員からの意見・提案等	評価		
家庭連携等	1 本校の現状がわかる情報—学校だよりなどが、適切に提供されていますか。	3.3	3.4	3.3	3.3	3.1	3.1	3.2	3.1	1 ホームページや会報などをとおして学校の広報活動が適切に行われたか。本校の現状がわかる情報を適切に提供されているか。	3.2	C	・学校ホームページが充実し情報発信されることに期待する。 ・PTA活動の参加率を高めるために、中学校等の行事も考慮するとともに、案内状の工夫を望む。 ・「安高新聞」の評価は高い。地域住民など、より多くの方に愛読してもらえるよう検討してほしい。 ・より多く媒体で学校の様子を発信することを検討してほしい。(携帯電話等)	B	・ホームページは学校内での情報収集を強化し、生徒の活動のみならず、PTA活動、教職員研修の様子なども紹介内容を充実させる。 ・PTA活動は行事の実施時期を再検討するとともに、より多くの保護者に参加してもらえるように、前年度の活動の様子を掲載するなど案内方法を工夫する。 ・「安高新聞」の配布方法や範囲については、現在の配布範囲を維持するとともに、より多くのひとに読んでいただけるように、経費等を考慮しながら配布範囲の拡大に努める。 ・学校から発行する保護者向け文書は、生徒を通して確実に家庭に届くように、引き続き色紙を使用して文書を配布するとともに、年度当初の生徒の指導を徹底する。	
		3.2	3.3	3.1	3.2	3.0	3.1	2.9	3.0		3.2					2
	3.3	3.3	3.2	3.3	3.4	3.4	3.6	3.4	3 PTA活動(PTA総会、出身中別PTA)は有意義に実施できたか。	3.1	3.2					
2 本校からの文書連絡は、保護者の方に渡して(or届いて)いますか。	3.3	3.3	3.1	3.3	3.2	3.3	3.2	3.2		3.3	3	3.2				
	3 本校のPTA総会や出身中別PTAなどのPTA活動は、有意義だと思いますか。					3.0	2.7	2.7	2.8			3.3				
学習指導	4 本校では、個々に応じた学習指導ができていますか。	2.9	3.0	3.1	3.0	3.0	2.7	2.9	2.9	4 個々に応じた指導(授業、個別指導)ができたか。	3.1	B	・地域の交流センターを自学習の場として活用することも有効ではないか。 ・今後もきめ細かい教科指導をお願いしたい。 ・体験学習や地域交流を実施することが重要と考える。	B	・授業アンケート結果から、個に対応した指導をもとめていく。・カリキュラムの変更部分(文系理2つ、文Iの医療系進学)について教科と学年部の意見を集約する。・交流センターの利用方法を提示する。 ・安来市に関する調べ学習や職場訪問等を検討する。	
		2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	3.0	2.8		2.7					5
進路指導	6 本校は、個々に応じた適切な進路指導ができていますか。	3.2	3.1	3.4	3.2	3.1	3.0	3.2	3.1	6 生徒が自分に合った進路目標を立てて進路実現できるように、面談等を活用し、個々に応じた進路指導を行っているか。	3.4	B	・キャリア教育の推進を望む。今年度の職業人講話はよかった。 ・職業体験を取り入れてはどうか。 ・個に応じた進路指導の充実を望む。	B	・総合学習・キャリア教育と進路指導計画との関連を明確にする。 ・生徒・保護者の進路意識の高揚につながる情報を発信する。 ・進路指導に地域の企業・人材の協力を得る。	
		3.0	3.0	3.2	3.1	2.8	2.8	3.2	2.9		3.2					7
生活・部活動	8 本校は、服装・頭髪・挨拶などの指導が適切に行われていると思いますか。	3.1	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	8 頭髪・服装・挨拶指導は適切に行われたか。	3.2	B	・自転車通学生のマナーをしっかりと指導してほしい。 ・今後も明るく元気な挨拶を望む。 ・生徒主体の学園祭は多くの保護者も来校し成功した。更なる充実を期待する。 ・携帯電話によるトラブルが心配。指導が必要と感じる。 ・部活動指導における体罰問題は発生していないか心配である。	B	・交通安全指導の充実・・・街頭指導は今後も継続するが、交通安全教室等、様々な事業を活用し、生徒の意識づけを行う。 ・情報もらる教育の充実・・・外部講師(専門業者及び警察)を招聘し、1年生「携帯教室」、2年生「携帯安全教室」を開催することで、問題発生防止に役立てる。 ・学園祭の充実・・・3日間連続開催の蒼輝祭を、2日間の蒼輝祭(8/30~31)と時期をずらして1日開催(11/2)の文化祭を分割開催とし、文化部の発表と展示を充実させる。	
		3.1	3.1	2.9	3.0	3.0	3.0	3.1	3.0		3.0					9
生活・部活動	9 本校では、交通マナーの向上と事故防止に努力していると思いますか。	3.0	3.0	3.0	3.0	2.9	2.8	2.8	2.8	10 文武両道を目指したきめ細かな学習指導や熱心な部活動指導が行われているか。	3.1	B	・交通安全指導の充実・・・街頭指導は今後も継続するが、交通安全教室等、様々な事業を活用し、生徒の意識づけを行う。 ・情報もらる教育の充実・・・外部講師(専門業者及び警察)を招聘し、1年生「携帯教室」、2年生「携帯安全教室」を開催することで、問題発生防止に役立てる。 ・学園祭の充実・・・3日間連続開催の蒼輝祭を、2日間の蒼輝祭(8/30~31)と時期をずらして1日開催(11/2)の文化祭を分割開催とし、文化部の発表と展示を充実させる。	B	・交通安全指導の充実・・・街頭指導は今後も継続するが、交通安全教室等、様々な事業を活用し、生徒の意識づけを行う。 ・情報もらる教育の充実・・・外部講師(専門業者及び警察)を招聘し、1年生「携帯教室」、2年生「携帯安全教室」を開催することで、問題発生防止に役立てる。 ・学園祭の充実・・・3日間連続開催の蒼輝祭を、2日間の蒼輝祭(8/30~31)と時期をずらして1日開催(11/2)の文化祭を分割開催とし、文化部の発表と展示を充実させる。	
		3.1	3.0	2.8	3.0	2.8	2.8	2.8	2.8		3.0					10
生活・部活動	10 本校の教職員は、部活動の指導に熱心に取り組んでいると思いますか。	3.2	3.2	3.4	3.3	3.4	3.3	3.2	3.3	11 蒼輝祭(学園祭)などの学校行事は適切に企画・運営され、生徒が積極的に参加している。	3.6	C	・人権意識の高揚に努めてほしい。(研修会の充実)	B	人権教育は、LHRの指導案を学年会と協議する時間を増やすことと、LHRを互見授業に組み入れたい。また、人権委員の活動の場を作りたい。	
		3.4	3.3	3.3	3.3	3.2	3.1	3.2	3.2		3.1					11
保健相談	12 本校では、心身の健康に関する指導が適切に行われていると思いますか。	3.0	3.1	3.1	3.1	3.1	2.9	3.0	3.0	12 健康診断や健康観察による生徒把握・健康指導は適切に行われているか。	3.4	B	・いろいろな悩みを抱える生徒が増加していると思われる。相談等ができるよう時間の確保に努めてほしい。 ・スクールカウンセラーの配置日数が増えるよう、県教委に働きかけを。	B	・S.Cの配置状況は、68時間、月2回6限授業日の午後4時間程度である。来年度の配置についても強く要望している。 ・生徒がS.Cを一層利用しやすいように、放課後だけでなく午後の授業中のカウンセリングが欠課にならないような設定を協議していく。 ・教職員の放課後の時間創出・情報共有を推進して、全校相談体制を確保していきたい。	
		3.0	2.9	2.7	2.9	2.9	3.0	3.0	3.0		3.4					13
人権	14 本校では、人権を尊重する意識を育てる指導が適切に行っていると思いますか。	2.9	3.1	3.1	3.0	2.9	2.9	2.9	2.9	14 人権を尊重する意識を育てる指導が適切に行われたか。	2.7	C	・人権意識の高揚に努めてほしい。(研修会の充実)	B	人権教育は、LHRの指導案を学年会と協議する時間を増やすことと、LHRを互見授業に組み入れたい。また、人権委員の活動の場を作りたい。	
		2.9	2.9	2.8	2.9	2.9	2.8	3.0	2.9		3.0					15
図書	15 本校では、図書館利用の促進や読書指導は十分に行われていると思いますか。	2.5	2.6	2.9	2.6					15 図書館利用の啓発と推進及び読書指導は十分に行われているか。(広報活動を含む)	3.3	C	・生徒のニーズとギャップあるようだが、工夫と改善により図書館利用の促進に努めてほしい。	B	各教科・分掌等の要望を受け、授業等に関連する図書購入も増やしたい。 (生徒からはマンガ、ライトノベルの購入希望が多い)	
		2.7	2.8	2.6	2.7						3.3					
(平均)		3.0	3.1	3.2	3.1	3.1	3.0	3.1	3.1			自由意見等	・生徒のボランティア活動の推進を望む。 ・松江養護学校安来分教室との交流を望む。 ・地域との交流により、コミュニケーション力の向上や社会性の伸長に期待する。 (地域交流センターとの関り)		・生徒会ボランティア委員会を中心にした活動の推進に努める。 ・年度当初の連絡調整会議でしっかりと協議し、充実した活動が行えるよう設定する。 ・地域の諸活動を校内で紹介するなどし参加を促す。	
		3.1	3.1	2.9	3.0	3.0	2.9	3.1	3.0							
総括	16 あなたは(お子さんを)、本校に進学して(させて)よかったと思っていますか。	3.1	3.0	3.3	3.1	3.4	3.4	3.5	3.4							
		3.1	2.9	3.2	3.1	3.2	3.2	3.3	3.2							

黒に白抜き数字は、H24年度
白に黒数字は、H23年度

【評点】
質問項目に対して
4点=そう思う
3点=まあそう思う
2点=あまりそう思わない
1点=思わない

■全項目について、評点3.0以上が目標

【評価基準】
・良好。今後も現状を維持・継続すべき。 = A
・概ね良好。さらに効果を高める工夫を。 = B
・やや不良、不十分。改善の方向で取り組む。 = C
・不良。抜本的見直しによる改革改善が急務。 = D

【参考】安高生への評価		生徒の自己評価				保護者による評価			
1	あなたは(orお子さん)は、家庭での学習時間が確保できていると思いますか。	2.8	2.8	2.8	2.8	2.5	2.7	2.8	2.6
		2.5	2.4	2.8	2.5	2.6	2.6	2.7	2.7
2	あなたは(orお子さん)は、服装・頭髪等などの規律を守っていますか。	3.6	3.5	3.7	3.6	3.5	3.5	3.5	3.5
		3.6	3.6	3.5	3.6	3.2	3.2	3.2	3.2